

構造物点検情報の一元管理

点検タブレットシステム

作業がシンプルになる。できることが、もっと増える。



現場での軽装化、点検の精度向上、
時間や紙の使用削減。
ヒューマンエラーも減少します。





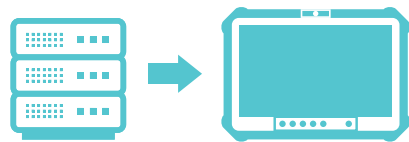
タブレット端末とデータベースの連携により メンテナンス業務の効率化・高度化を実現します。

近年、高速道路の老朽化に対するメンテナンス意識が高まっており、現場の作業ボリュームが増加しています。本製品を使用し、点検の「準備」「作業」「報告」の一連の流れにおけるデータを一元管理することで、これまで手作業のみで点検を行っていた時に比べ、点検作業全体の効率化や工程の削減、精度向上が可能になります。

STEP 1 事前準備

点検前に調査対象の橋梁データをタブレットに取り込みます。

- 膨大な情報の持ち歩きが可能
- ペーパーレス化によるコスト削減
- 準備漏れのミスを防止

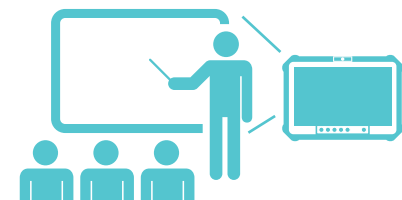
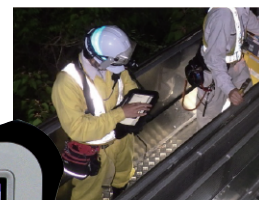


STEP 2 点検

実際に点検をしながら、損傷状況をタブレットへ直入力します。

- 損傷の進行状況の確認ができ、点検の精度が向上

過去の点検データ(写真)とその場で比較することで
損傷の進行状況を正確に把握できます。



STEP 4 点検報告補修検討

点検データを大画面に映し、プレゼンテーションを行います。

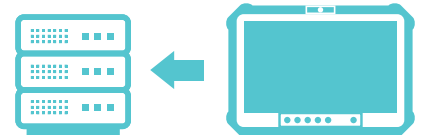
- 「見せる」プレゼンテーションが容易に
- 最新の点検情報をタイムリーに確認できる

STEP 3 報告書作成

タブレットに入力した点検結果をデータベースに移し、出力します。

- 資料作成の時間短縮やヒューマンエラーを削減

履歴の更新と蓄積が容易にできます。
転記やチェックが不要なので、
時間短縮やミス防止につながります。



**点検作業一連の時間短縮によって、
細やかな点検や精度の高い判定が可能となります。**

■ 取扱・お問い合わせ先

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社

〒760-0072 高松市花園町三丁目1番1号

tel.087-834-2386 fax.087-834-0150

くわしくは **エンジニアリング 四国** **検索**

販売代理店